

令和7年度 九州農政局農業農村整備事業等事後評価技術検討会(国営事業)(第1回) 委員からの質問・意見及び回答総括 【筑後川下流左岸地区】

番号	委員名	質問・意見	第2回技術検討会回答(案)	備考
1	齋藤委員	○ 資料3-1 p8～事業実施による環境の変化 ・ 事業によりクリークの法面保護が行われている。地域や景観に配慮した施工を行っているため、5(1)自然環境の変化から独立させて擬木等記載することや総合評価に記載してはどうか。	・ <u>技術検討会の意見として記載する。</u>	
2	原口委員	○ 資料3-1 p15～災害防止効果 ・ 災害防止効果の算定表のうち「現況年被害額」、「事業ありせば年被害額」の欄の「-」はシミュレーションによるものとされているが「0」なのか。「0」なら「0」で良いのではないか。	・ 災害防止効果については、湛水シミュレーションにより、「事業なかりせば」、「現況」、「事業ありせば」の年被害額を推計しており、シミュレーションの結果「0」となった箇所は記載ルールに沿って「-」としていたが、効果算定過程におけるシミュレーションの結果の有無を示す必要があるため、「0」と記載する。 ・ 「0」と「-」の使い分けについて、表外に注釈を記載する。	